

国際業務の窓辺から

CLAIR 経験者からのメッセージ



クレアでの経験を活かして

神戸市企画調整局医療産業都市・企業誘致推進本部企業立地課 医療関連企業誘致担当係長 岩尾 幸一

はじめに

ロンドンから帰任して、もうすぐ9年になります。記憶も薄れつつありますが、今でもロンドンで過ごした2年間は、日本では得られない貴重な経験として、今の仕事や生活に大きな影響を与えています。

多くの同僚・友人との出会い

クレアでは、1年間の東京本部と2年間のロンドン事務所での勤務を経験させていただきました。本部では指導課（現研修・カウンセリング課）に配属され、全国の自治体や省庁、民間企業から派遣された同僚、プログラムコーディネーターと仕事をさせていただきました。当時の指導課はなぜか関西出身者が多く、ノリが良かったのが印象に残っています。

ロンドンでは、ローカルスタッフや同僚に、慣れない海外生活で色々サポートいただきました。プライベートでは日本人のテニスサークルに参加していましたが、今でも多くのメンバーと付き合いが続いています。今ではFacebookなどSNSが発達して便利になりました。当時に培った交友関係は、今でも大切な財産です。

海外に暮らすこと。

イギリスは階級社会と言われますが、同時にさまざまな人種や国籍の人が溢れ、「~訛り」の英語にも苦労しました。また、イギリスに限りませんが、日本の生活リズムと異なることも多く、イライラしても仕方ないのですが、きめ細かいサービスは期待できません。宅配便も日本のように受け取り時間を指定できるわけもなく、一日中家で待ちながら、結局来なかったこともあります。何事も交渉しなけれ



テムズ川を挟んで「ロンドン・アイ」と「ビッグベン」。ロンドンで一番好きな場所です。



トラファルガー・スクエア。写真右奥にロンドン事務所の建物が見えます。

ば生活できません。

苦労も多かったですが、良い思い出は旅行とテニスです。現地ではEASY JETなどLCCが充実していたため、週末を利用してさまざまな国を訪れました。また、テニスの聖地「ウインブルドン」も仕事帰りに観戦しました。当時から憧れのフェデラー選手のプレーを間近で見ることができたことも素晴らしい思い出です。



ウインブルドンのセンターコート

帰国してから

帰国後はすっかりイギリス臍員になりました。英語学習の雑誌もイギリス英語の特集号だと購入したり、イギリス映画も好んで観るようになりました。

また、本末転倒のようですが、帰国してから英語を必死に勉強しました。ロンドンでは日本人の同僚、友人と過ごす時間も長く、意外と英語に接する時間が少なかったと反省しています。

帰任後は、コンテナ船やクルーズ客船の誘致のほか、現在は医療関連企業の誘致を担当しています。いずれも海外の船会社や製薬企業との交渉など英語でのコミュニケーションの機会も多く、クレアでの経験も大きく活かしていると感じています。

これから赴任する皆さんへ

自治体職員として、地域の課題を解決するためにも、より一層広い視野を持って仕事に臨む。クレアではそのための糧となる、貴重で充実した経験をさせていただきました。これから赴任される皆さんも、赴任地でさまざまな経験を積んで、派遣元で大いに活躍されることを期待します。

プロフィール

- 略歴：
 - 平成 6 年 4 月 神戸市入庁
 - 平成 16 年 4 月 自治体国際化協会 業務課 指導課 主査
 - 平成 17 年 4 月 自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐
 - 平成 19 年 4 月 財団法人神戸港埠頭公社 経営管理部 経営振興課 経営係長
 - 平成 23 年 4 月 みなと総局 みなと振興部 振興課 客船誘致担当係長
 - 平成 26 年 4 月 企画調整局 医療産業都市・企業誘致推進本部 企業立地課 医療関連企業誘致担当係長(現在)